55 戦略的農林水産研究推進事業

令和８年度予算概算要求額　1,852百万円（前年度 1,369百万円）

＜対策のポイント＞

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進するとともに、研究成果の社会実装に向け、知財の活用を見据えた研究開発時からの戦略的な知財マネジメントの強化など**研究開発環境の整備を実施**します。

＜事業目標＞

○　重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践［令和12年度まで］
○　知財マネジメントの強化、アウトリーチ活動の展開により、農林水産業・食品産業にイノベーションを創出［令和12年度まで］

＜事業の内容＞

１．研究開発

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進します。

① **食料安全保障強化研究**
　生産性の抜本的向上や農業生産基盤の持続的な保全等に資する技術の研究開発を推進
② **気候変動適応研究**
　温暖化に対する適応技術や将来の適地適作予測技術の研究開発を推進
③ **輸出拡大研究**
　輸出先国・地域の規制やニーズへ対応するための技術の研究開発を推進
④ **環境負荷低減対策研究**
　みどりの食料システム戦略の実現に資する技術の研究開発を推進
⑤ **革新的技術創出研究**
　バイオテクノロジーを活用した革新的な技術の創出に資する研究開発を推進

２．環境整備

研究開発と成果の社会実装を効果的に行えるよう、知財の活用を見据えた研究開発時からの戦略的な知財マネジメントの強化やアウトリーチ活動の展開等の環境整備を行います。

① **戦略的研究開発知財マネジメント強化事業**
② **海外・異分野動向調査**
③ **先端技術の社会実装の加速化のためのアウトリーチ活動の展開**

＜事業の流れ＞

国 → 委託 → 民間団体等（公設試、大学を含む）

＜事業イメージ＞

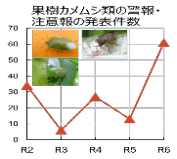
研究開発

①食料安全保障強化研究

【研究内容】
節水型乾田直播等による低コスト・省力栽培技術、頭首工のパイピング監視技術の開発　等

【期待される効果】
生産・労働コストの削減や農業用水の安定的な確保により食料安全保障の強化に貢献

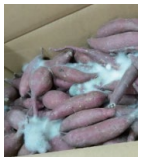
②気候変動適応研究



【研究内容】
温暖化により被害が増加している害虫の発生時期の予測及び侵入・まん延防止技術の開発　等

【期待される効果】
気候変動に対応した害虫管理技術を構築し、食料の供給機能の維持に貢献

③輸出拡大研究



【研究内容】
かんしょの長距離輸送技術、茶やいちごの残留農薬基準に対応した総合防除体系の確立　等

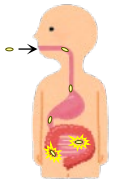
【期待される効果】
農林水産物の新たな販路拡大や所得向上に貢献

④環境負荷低減対策研究

【研究内容】
材木及び海藻類の育種高度化技術、経済的な再エネ施設生産を提案するAIの開発　等

【期待される効果】
農林水産分野における地球温暖化対策の推進に貢献

⑤革新的技術創出研究



【研究内容】
スギ花粉米実用化に向けた安全性・有効性の検証　等

【期待される効果】
バイオテクノロジーを活用した新たな事業の創出に貢献

環境整備

①知財マネジメント強化
研究成果の効果的な社会実装のための知財マネジメントを推進

②海外・異分野動向調査
海外・異分野の最新の研究開発動向等を俯瞰的に調査

③アウトリーチ活動の展開
先端技術をわかりやすく伝える動画等のコンテンツを作成

［お問い合わせ先］農林水産技術会議事務局研究企画課（03-3501-4609）